

薩摩半島横断道路の 早期実現を！



薩摩半島横断道路建設促進協議会
(南さつま市、南九州市、枕崎市、指宿市の4地域で構成される促進協議会)

薩摩半島横断道路の早期整備で、 南薩地域の更なる一体化を！

地域高規格道路「南薩縦貫道」は、南薩地域と鹿児島市との交流・連携の促進、鹿児島空港へのアクセス向上等を図り、活力ある地域づくりや地域振興・経済の浮揚に大きく貢献するものと期待されております。

今後、地域特性(産業・経済・観光・文化)を最大限に活かし、併せて高次医療へのアクセスや救命・救急活動、環境衛生等の広域行政圏の拡充を図るには、骨格となる南薩縦貫道や指宿スカイラインと市街地・観光地を有機的に結ぶ補完道路を整備し、半島全体の交通利便性や周遊性を高めることが必要となります。また、大規模災害時の緊急輸送、避難・救援ルート確保など、広域的な交通ネットワークの強化が課題となっています。

このため、更なる一体的な南薩地域の形成を目指し、縦軸となる南薩縦貫道や指宿スカイラインに呼応する、横軸の南さつま市から指宿市を最短で結ぶ『薩摩半島横断道路』の早期実現が強く望まれています。

Point!

計画ルートの一部は
現道の改良によって
コスト縮減を
実現!!

Route 1

南さつま市「市役所前交差点」～南薩縦貫道「南九州神殿IC」

・起点の南さつま市「市役所前交差点」から、平地部に広がる集落を避けながら最短距離で東進し、南薩縦貫道「南九州神殿IC」に至る。

➡ 南さつま市と南九州市、鹿児島市方面とのアクセス向上

Route 2

「瀬世交差点」～指宿スカイライン「鰐塚IC」

・南九州市の「瀬世交差点」から、平地部に広がる集落を避けながら最短距離で東進し、指宿スカイライン「鰐塚IC」に至る。

➡ 枕崎市と南九州市、指宿市とのアクセス向上

Route 3

仮称「池田交差点」～指宿市街地

・指宿スカイライン仮称「池田交差点」から、平地部に広がる集落を避けながら東進し、指宿市街地に至る。

➡ 南薩地域の高速交通ネットワークを構築

薩摩半島横断道路
計画ルート案

ルート1：新規計画及び一部道路改良

約15分

ルート2
新規計画区間

約10分

**ルート3
新規計画区間**

約10分



吹上浜海浜公園

南さつま市役所

南さつま市

坊野間県立自然公園

枕崎市

枕崎市役所

枕崎漁港

市宿指

市役所

指宿温泉

池田湖

開聞岳

フラワーパークかごしま

時間短縮効果（南さつま市役所⇄指宿市役所）

これまでの、
南さつま市役所⇄指宿市役所までの所要時間は、**約1時間30分**
薩摩半島横断道路が完成すると、
南さつま市役所⇄指宿市役所までの所要時間は、**約1時間**で、
約30分の時間短縮となります。

凡 例

○○○○○ 薩摩半島横断
道路ルート案

0 1,000 2,000

効果 1

東西を結ぶ道路ネットワークの強化

●災害等緊急時における代替路線の確保

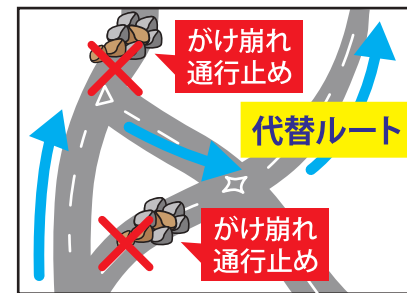
大規模災害時や緊急時等で道路が寸断された場合の代替ルートとして活用され、道路ネットワークが強化されます。

●通勤時間の短縮による雇用拡大

東西アクセスの時間短縮により、通勤可能範囲が広がり、雇用が拡大します。

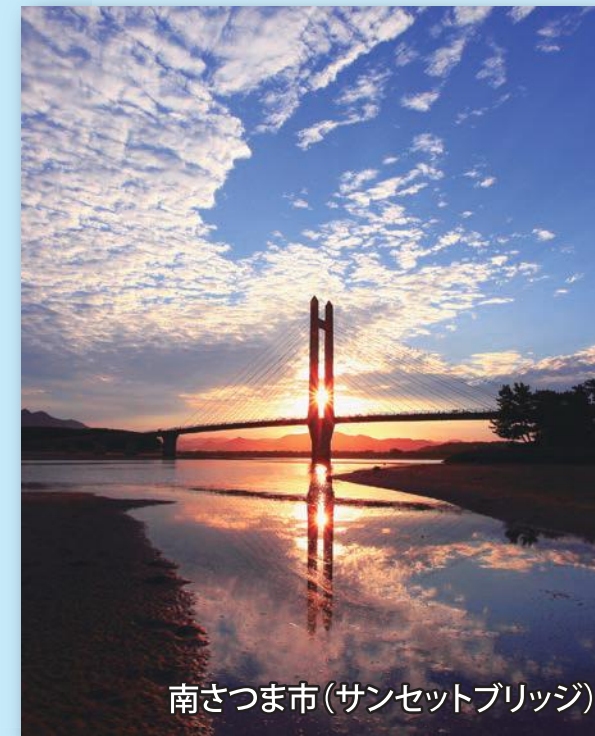
●農水産物輸送等の安定供給

災害等で道路が寸断された場合でも、代替ルートを活用し、安定した供給が可能となります。

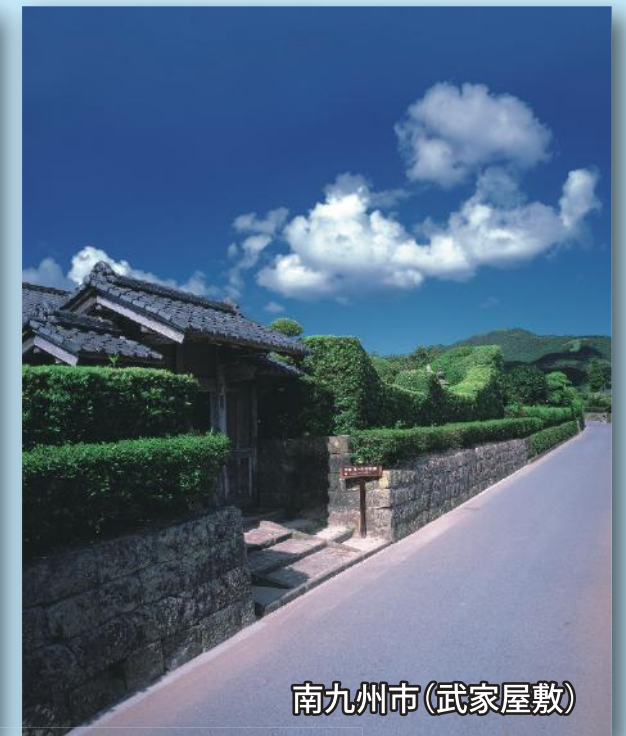


凡 例	
	代替・輸送ルートイメージ
	薩摩半島横断道路ルート
	南薩縦貫道
	指宿スカイライン
	国道

凡 例 (農産物・水産物)	
	米・タバコ等
	カボチャ・米等
	川辺牛・メロン等
	ポンカン・タンカン等
	茶・さつまいも等
	そらまめ・観葉植物等
	マグロ・養殖場
	かつお加工品等



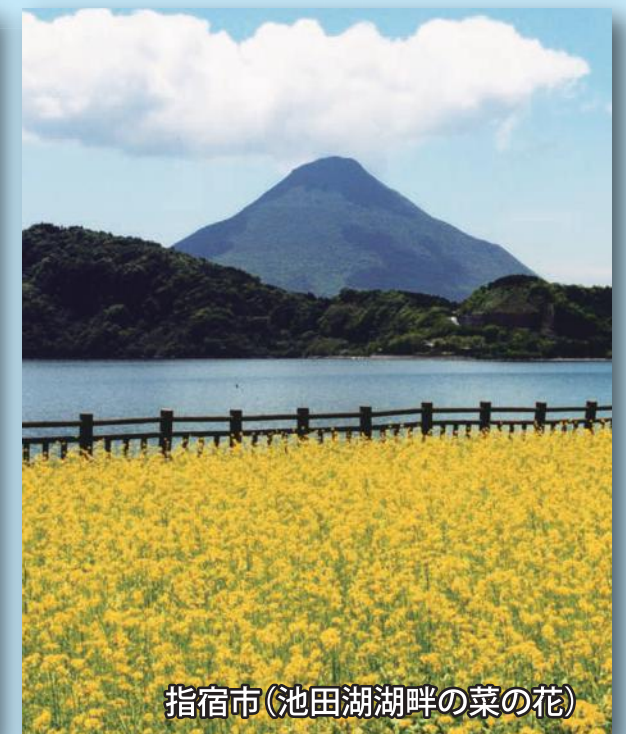
南さつま市(サンセットブリッジ)



南九州市(武家屋敷)



枕崎市(火之神公園(立神岩))



指宿市(池田湖湖畔の菜の花)

「薩摩半島横断道路」は、活力ある地域社会を形成し、豊かで安心・安全な暮らしを守る上で、最も重要な社会インフラであり、地域住民はその整備促進を強く切望しております。私達は、その早期実現を目指し、一丸となって積極的に取り組んでまいります。

薩摩半島横断道路建設促進協議会

〒897-0006 南さつま市加世田本町23番地7(南さつま商工会議所内)

TEL:0993-53-2244 FAX:0993-52-2016

観光圏の拡大・多様化

- 現在、南薩地域は集客力のある観光施設が点在しており、観光は日帰りの割合が多い状況です。周遊性が高まり、移動の時短化が実現すると、観光ルートが新たに開拓され、滞在スタイルが日帰り→宿泊へと多様化し、地域活性に繋がることが期待されます。



安心・安全な暮らしの創生

-

- 南薩地域の環境衛生は、2つの衛生組合が市域を越え、広域的に担っています。東西アクセスの整備により、4地域間の連携が強化され、市民の衛生的な暮らしを守ります。

